

令和4年3月22日

## 令和4年地価公示に関するコメント

住友不動産株式会社  
代表取締役社長 仁島浩順

新型コロナによる経済活動への制限が緩和に向かうものの、国内景気の回復は見通しにくい情勢だ。足元では資源高や供給網混乱による物価への影響など、先行きの不透明感が増している。

こうした中、商業地では、生活利便の店舗などで需要が一時持ち直す動きも見られたが、ホテルや飲食店舗は引き続き低迷している。東京のオフィスビル市況も、業績堅調な企業による新規需要が増えつつあるものの、一進一退の情勢が続いている。

住宅地は、引き続き低金利環境や住宅取得支援策などが下支えとなり、希少性の高い都心や交通至便な地域を中心に需要が堅調に推移している。

以上